

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

1 事業の成果

2022年度は新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」と記載。）の影響を受けながらも、小児がんの子どもたち及び家族への支援を強化しつつフェンドレイジングの強化にも努めた。その中で奨学生の採用数の拡大、新規事業の試験的開始等を行い、イベントについても3年振りに東京と京都で対面でのウォーキングイベントの開催を支援することができた。また、2022年10月が認定更新時期であったことから、4月に認定更新の申請を行った。COVID-19の影響で11月に東京都の更新のための審査がおこなわれ、滞りなく認定更新の認証を得た。

【1】 収入

2022年度の収入実績は191,040,660円で、2022年度予算108,336,000円の76%増と大幅に上回った（対2021年度+54%）。これは多額の遺贈寄付（約4,000万円）、東京マラソン等による寄付（約2,500万円）、企業による支援の取組が大幅に増えたこと（商品販売に比例した寄付、コンサートイベントでの募金活動。対前年比約1,500万円）により一般寄付が大きく伸びたことによる。また、会員寄付についてはHP、SNS等の内容の充実等の効果もあり、2022年度収入は個人が約1,630万円で2021年度比+230万円（2020年度比+770万円、2019年度比+1,010万円）、法人が約1,300万円で2021年度比+40万円（2020年度予算比+300万円、2019年度比+830万円）と、引き続き前年を上回った。

なお、今後安定的な収入確保のためには、マンスリーサポーター（毎月の寄付）の増加が必要と判断し、マンスリーサポーターとしての加入を呼びかけるチラシ等を作成し、イベント等（外部団体によるチャリティイベントを含む）での配布によりその普及に努めた。結果、2022年末は230人（2021年末164人）に増加した。

助成金については、2022年度事業を対象とするもの（2021年度中に採択・入金されたものを含む）は6件、約270万円を受けることができた（内訳：ひとり親世帯支援100万円、奨学金96万円、ニット帽・マスク47万円、奨学生交流会27万円）。

支援自動販売機は、支援企業からの紹介等でCOVID-19禍の中でも26台が増設された。一方、COVID-19の影響によるテレワークの拡大によるオフィススペース削減や出社者削減の影響を受けて自動販売機の撤去は続いており、合計23台が撤去となり、全体では3台の増加に止まった（2021年度は27台減少）。

古本募金は、3月に買い取り業者であるバリューブックスによる500円上乗せキャンペーンが1週間実施された他、12月の1か月間当法人独自（バリューブックス企画）の買い取り額10%アップキャンペーン（そのうち12/1～12/25は古本買い取り業者バリューブックスによる10%アップキャンペーンと重なり合わせて20%アップ）等を行い、2021年度より11件、約3万円の増収となったが、2020年度比では120件、約15万円の減という残念な結果となった。

2021年11月より、古物取引業者との提携により、古物の買取金を当法人への寄付とする「お宝エイド」を実施し、2022年3月より入金開始となった。2022年度の実績は約50万円。

【2】 小児がんの子どもたちの生活の質の向上のための支援事業

2021年度もCOVID-19の小児がん患児・経験者やその家族への影響は続いており、その対応を含めて当法人の事業活動を強化した。

① 交通費等補助制度

小児がんを治療中の患児のCOVID-19の感染予防の観点から、通院にあたって医師により公共交通機関の利用が禁止され、自家用車、レンタカー、タクシーでの移動を余儀なくされている状況は2022年度も続いた。また、付添者が安価に利用できる宿泊施設（ファミリーハウスなど）では県を越えた移動をした直後の数日は利用ができないなどの制限がある場合は民間のホテルを利用せざるを得ず、その宿泊費の負担が増加した。また、宿泊施設利用時に自己負担でPCR検査を求められることも支出増となった。更にCOVID-19により事業や仕事に影響を受け収入が減少した世帯も引き続き起きている。

一方、当制度が拠点病院等で患児・家族向けのガイドブックに掲載されたり、病院の紹介等で、申請数、支給金額共に大幅に増加した2020年度（161件、2,306万円）から、2021年度はさらに申請数、支給総額が増加（191件、2,672万円）。その状況から2022年度も増加傾向することが予想された。この為、制度を継続的に運営できるように支給対象の内、所得が比較的高い層（主に年収500万円以上の世帯）の支給基準を改正した。その結果、2022年度の実績は申請178件、支給総額2,501万円となったが、1件当たりの支給額を見ると14万500円で2021年度の約14万円とほぼ同額であった。

①-2 ひとり親世帯支援制度（新規）

日本の子どもの貧困率は高く（貧困率13.5%：2021年度厚生労働省調査）、特にひとり親の場合は2人に1人が貧困という先進国最低の水準にある。ひとり親世帯は非正規・パートの割合が高く、子どもに小児がん治療が必要となった場合、入院が長期に渡るため退職を余儀なくされるなど、経済的に厳しい状況に置かれている。また、仕事を継続できる場合でもCOVID-19の影響により収入に影響を受けている世帯も多い。

こうした入院治療が必要となった小児がん患児を抱えるひとり親世帯の入院時の諸費用や収入減を少しでも補うことを目的に、ForChildren基金の助成金100万円を得て「ひとり親世帯支援制度」を開始した。結果、交通費等補助制度の対象世帯のうち、年収300万円未満のひとり親世帯に5万円を支給し、18世帯、総額90万円を支給した。（助成金の残金10万円は2023年に繰り越して支給する）

② ゴールドリボン奨学金

小児がん患児や経験者は晩期合併症を抱えながら、自らの夢を叶えたいと大学等への進学を希望し、学ぶ意欲の高い子どもも多い。一方で家庭の経済的問題から進学をあきらめざるを得ない子どもも多い。特に晩期合併症の治療を継続している場合、医療費の補助が無くなる 20 歳以降の経済的負担に不安を抱え、進学を躊躇する子どもたちもいる。そういう状況の中でこの奨学金は子どもたちへの大きな支えとなっている。2022 年度の奨学金支給実績は、奨学生 53 名（2022 年春入学 14 名）、支給総額 1860 万円となった。

2023 年度入学予定者の奨学金への応募は、35 名。2022 年度は前述のとおり東京マラソンや遺贈により大幅な収入増を実現できたため、2023 年度と 2024 年度で各 20 名程度の奨学生を新たに採用できるよう 5,000 万円を新たに特定資産に積み立てた。2023 年度の実績者を選考した結果、2022 年度の 14 名採用から大幅に増やし、21 名（4 年制 16 名、2 年制 5 名）の奨学生を新たに採用できた。

② -2 奨学生交流会

小児がん再発や晩期合併症や再発による体調悪化等の様々な困難、小児がん経験者であるが故の学生生活や就職活動の課題などについて身近に相談相手を見つけにくい、更には COVID-19 の影響による授業のオンライン化など学校での人間関係構築が難しく孤独を感じる学生が少なくない等の課題解決の一助として、昨年度に引き続き奨学生交流会を実施した。昨年はオンラインで実施したが、今回は対面とオンラインのハイブリッド形式とし、対面で 6 名、オンラインで 3 名が参加し、同年代の小児がん経験者特有の悩みや、将来への夢や取組などについて語り合い、体験を共有した。また、小児がん経験者の先輩である医師と社員の 2 名が、講演及び座談会のファシリテーターとして参加した。

③ キャンプ助成

7 団体を採用したものの、COVID-19 の影響により 2 団体が開催中止となった。助成した 5 団体を合計したイベント参加者は 140 名、うち患児 41 名であった。

④ ニット帽・ニットマスクプレゼント

ニット帽 248 枚（2021 年度 278 枚）、ニットマスクは 446 枚（2021 年度 592 枚）であった。リコー社会貢献クラブ・FreeWill30 万円、デンソーはあとふる基金 15 万円を原資として実施した。

⑤ サバイバーネットワーク

ご招待イベント（柏レイソル選手とのオンライン交流会、アフラッククラシックチャリティコンサート、他）、小児がんに関するシンポジウム（DIPG 市民シンポジウム、がん患者ニーズ調査、他）等を案内した。登録者数は 942 名と対前年比で約 300 名増と大幅増となった。

【3】小児がん治療等研究助成

小児がんを治る病気に、という想いで行っている治癒率向上及び QOL 向上のための研究支援は、2022 年度は応募件数 23 件（内治癒率向上 21 件、QOL 向上 2 件）となり、内 14 件（内治癒率向上 13 件、QOL 向上 1 件）が選考委員会で採択された。その助成金額 1,276 万円。また、留学支援については東京

小児がん研究グループ（TCCSG）が選考した■■■■医師（東京大学医学部附属病院小児科）のカナダの The Hospital for Sick Children への留学を支援した。

【4】小児がんに関する情報提供・理解促進

オンラインイベントだけでなく、2022年度は COVID-19 の感染防止対策を取った上でホリアル開催のイベントもあった。

① ウォーキングイベント

東京・お台場での小児がん啓発イベントであるゴールドリボンウォーキングは、3年ぶりのリアル開催で実施した。屋外イベントであるものの、参加人数を制限し、密になるブース設置を控えるなどの感染対策を行い、参加者は1,800人以上となった。出発式では小児がん経験者2名が体験をスピーチを行い、小児がんの子ども達の応援歌である『WE ARE ONE』を歌手の■■■■氏と小児がん経験者も参加したバンドによる歌唱と演奏を行った。当法人は実行委員会メンバーとして参画し、特別協賛した。イベントからの寄付総額約420万円を病院、こどもホスピス、患者会等35ヵ所へ寄付する予定である。

また、京都府立医科大学の創立150周年記念イベントとして同大学主催で鴨川沿いの遊歩道を歩くウォーキングイベントが実施され、当法人は開催の支援を行い、約1,000人が参加した。初めて大学病院の開催で会場が大学病院の構内であったこともあり、より身近に小児がんを感じられるイベントとなった。東京同様、小児がん経験者による体験談や小児がん経験者である■■■■さんのインタビュー動画の放映、『WE ARE ONE』の演奏も行われた。

② Gold Ribbon Month 2022（9月小児がん啓発月間オンラインイベント）

昨年度から開始した世界小児がん啓発月間（9月）の啓発イベント「Gold Ribbon Month」を2022年度も実施した。今回はイベントのテーマを「大切なもの」とし、テーマに沿った小児がん患児・経験者によるオンライン作品展と、小児がん患児3名■■■■さん、■■■■さん、■■■■さんと彼らのご家族のインタビュー動画を制作しHPの特設ページに掲載、動画は3本合計で約15万回視聴された。また、『ゴールドリボン通信』やHPに国立病院機構名古屋医療センター小児科■■■■医師による「小児がんを語る」（文章）も掲載し、その理解の普及を図った。

加えて、特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ（JCCG）が9月に実施した Global Gold September Campaign に賛同団体として参加した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 118,309 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 小児がん支援のためのゴールドリボン普及事業	<p>①提携商品を通じて一般の方々へゴールドリボンや当法人の活動の認知を高めると共に、支援自動販売機での普及活動を継続した。</p> <p>②東京・お台場で開催されたゴールドリボンウォーキングに実行委員会のメンバーとして参画すると共に、特別協賛し、ゴールドリボンと小児がん支援活動の普及を行った。</p> <p>③京都府立医科大学の150周年記念イベントの一環として開催されたウォーキングイベントに企画参加及び協賛し、ゴールドリボンと小児がん支援活動の普及を行った。</p> <p>④東京レガシーハーフマラソンに寄付先団体として参加し、チャリティブース等での情報発信などの普及活動を行った。</p> <p>⑤外部団体が主催するチャリティイベント等で当法人の展示パネル等を掲示し小児がんの理解・支援の普及を行った。</p>	通年	全国	8名	一般市民	延べ270万人(自販機等提携商品の販売数を含む)	29,558

<p>(2) 小児がんの治癒率向上のための研究・開発者支援事業 (3) 小児がん経験者の生活の質の向上のための研究者支援事業</p>	<p>①一般公募による応募23研究グループから、選考委員会により決定された14の研究グループへ助成を行った。 ②日本小児血液がん学会及び日本小児がん研究グループ(JCCG)等研究団体への助成を行った。 ③東京小児がん研究グループ(TCCSG)スカラシップ委員会で選考された研究者1名の海外留学を助成した。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>3名</p>	<p>医師 研究者 研究機関</p>	<p>のべ16団体 100名</p>	<p>22,401</p>
<p>(4) 小児がんに関する情報収集並びに情報提供事業</p>	<p>①公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター (TRI) との協働事業として、米国NCI作成のPDQの小児がん情報の日本語版作成を支援した。 ②9月の世界小児がん啓発月間に合わせたオンラインイベント「Gold Ribbon Month 2022」の中で、小児がん患者・経験者によるオンライン作品展を実施し、小児がん経験者による体験談のインタビュー動画を公開した。 ③2021年度活動報告書、ゴールドリボン通信21号を発行し、支援者、寄付者及び当法人の活動に関心のある個人・法人へ配布した。 ④当法人の活動報告や、小児がんに関する情報をホームページやSNSで情報発信した。</p>	<p>通年</p>	<p>インターネット</p>	<p>4名</p>	<p>一般市民、小児がん患者、経験者とその家族</p>	<p>25万人 (サイト閲覧者含む)</p>	<p>7,654</p>

<p>(5) 小児がんに関する国内外の専門家、団体、研究機関とのネットワーク構築事業)</p>	<p>①日本で小児がん治療・研究を専門とする、小児がん拠点病院、総合病院等200以上が参加する日本小児がん研究グループ（JCCG）の支援協議会にメンバーとして参加した。</p> <p>②小児がん経験者の集まりであるサバイバーネットワークへの情報配信は、登録者が前年度より300名近く増えて942名となった（前年度657名）</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>4名</p>	<p>医師 研究者 研究機関 患児、経験者、家族</p>	<p>1500人</p>	<p>0</p>
<p>(6) 小児がんに関するシンポジウム・講演会事業</p>	<p>①当法人を支援する企業に招かれ、小児がんの現状及び当法人の活動について講演・対談等行った。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>2名</p>	<p>一般市民</p>	<p>3600人</p>	<p>0</p>
<p>(7) 小児がんの知識、理解の普及・啓発事業</p>	<p>①ゴールドリボンウォーキングを通して小児がん経験者の体験談を発表し、小児がんの理解と子ども達への支援の輪を広げた。また、小児がん患児・経験者のための応援歌『We Are One』を演奏した。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>10名</p>	<p>一般市民</p>	<p>3000人</p>	<p>4,035</p>

<p>(8) 小児がんの子どもたち(患児、経験者及びその家族を含む)の生活の質向上のための支援事業</p>	<p>①奨学金については、全国の小児がん経験者の大学生への奨学金(予約採用型、給付型)を53名に給付し、2022年度からの新規受給者として新たに21名を決定した。</p> <p>②小児がん患児とその家族が治療のため遠隔地の病院へ行くための交通費・宿泊費等の支援をのべ178家族に行った。そのうち年収300万円未満のひとり親18世帯には、ひとり親世帯支援として入院一時金も支給した。</p> <p>③小児がん患児・経験者やその家族を支援する団体が実施するキャンプ、イベントへの支援は、5団体に対し支援をした。</p> <p>④小児がんの患児に向けて、ニット帽子と、昨年引き続きマスクも希望者にプレゼントし、ニット帽248件、マスク446枚を配布した。</p> <p>⑤株式会社メディカルノートと提携し、小児がん患児・家族のための無料オンライン医療相談事業を行った。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>5名</p>	<p>小児がん患児、経験者とその家族</p>	<p>1000人</p>	<p>54,661</p>
---	---	-----------	-----------	-----------	------------------------	--------------	---------------

活動計算書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 正会員受取会費		80,000
2. 受取寄付金		
ゴールドリボン会員個人寄付	16,312,200	
ゴールドリボン会員法人寄付	13,035,000	
一般寄付	159,430,599	188,777,799
3. 受取助成金等		
受取助成金		2,181,738
4. その他の収益		
受取利息		1,123
経常収益計		191,040,660
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	18,815,154	
通勤費	768,184	
スタッフ業務委託費	3,427,902	
法定福利費	2,673,059	
人件費計	25,684,299	
(2) その他経費		
交通費助成金支出	25,010,823	
患児支援費	1,164,625	
研究助成金支出	17,760,000	
その他助成金支出	5,515,350	
自立支援奨学金支出	18,600,000	
ひとり親支援費	900,000	
業務委託費	1,660,635	
謝金等	150,345	
研修費	5,000	
通信費(電話料等)	204,897	
通信費(郵便料)	1,567,157	
宅配料	396,023	
水道光熱費	173,763	
旅費交通費	1,102,601	
広報費	264,000	
会議費	53,289	
事務用消耗品費	1,492,352	
普及消耗品費	2,953,500	
図書・ソフトウェア	74,116	
印刷出版物費	1,781,634	
賃借料	2,173,014	
諸会費	30,000	
銀行手数料	253,851	
集金代行手数料	2,419,708	
支払手数料	5,990,301	
減価償却費	927,567	
その他経費計	92,624,551	
事業費計		118,308,850
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	1,969,327	
通勤費	47,693	
スタッフ業務委託費	5,697,440	
法定福利費	489,171	
福利厚生費	33,482	
人件費計	8,237,113	
(2) その他経費		
業務委託費	293,480	
顧問料	2,150,500	
研修費	16,500	
通信費(電話料等)	134,982	
宅配料	2,530	
水道光熱費	43,440	
事務用消耗品費	741,213	
図書・ソフトウェア	29,513	
賃借料	934,220	
保険料	19,265	
諸会費	2,750	
租税公課	1,400	
銀行手数料	62,033	
支払手数料	98,925	
雑費	99	
減価償却費	432,750	
その他経費計	4,963,600	
管理費計		13,200,713
経常費用計		131,509,563
当期経常増減額		59,531,097
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		59,531,097
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		59,531,097
前期繰越正味財産額		122,201,622
次期繰越正味財産額		181,732,719

貸借対照表

令和4年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	48,788,163	
金券	10,043	
未収金	2,043,040	
前払費用	6,422	
立替金	290,644	
仮払金	1,600	
特定資産(自立支援基金)	101,193,411	
特定資産(ひとり親支援基金)	30,000,000	
流動資産合計		182,333,323
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	1,276,421	
有形固定資産計	1,276,421	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	1,410,702	
無形固定資産計	1,410,702	
(3)投資その他の資産		
敷金	187,077	
投資その他の資産計	187,077	
固定資産合計		2,874,200
資産の部合計		185,207,523
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払費用	3,474,804	
流動負債合計		3,474,804
負債の部合計		3,474,804
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		122,201,622
当期正味財産増減額		59,531,097
正味財産の部合計		181,732,719
負債の部及び正味財産の部合計		185,207,523

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	ゴールドリボン 普及事業	小児がん治療率 向上のための研 究支援事業	小児がん情報の 収集と提供事業	小児がんの知識・ 理解の普及・啓発 事業	小児がん患者と 家族のQOL向上 支援事業	合計
(1)人件費						
給料手当	6,402,654	1,830,195	2,464,008	2,175,195	5,943,102	18,815,154
通勤費	352,304	67,728	80,298	79,572	188,282	768,184
スタッフ業務委託費	1,317,174		701,986	927,218	481,524	3,427,902
法定福利費	581,124	303,082	420,678	353,210	1,014,965	2,673,059
人件費計	8,653,256	2,201,005	3,666,970	3,535,195	7,627,873	25,684,299
(2)その他経費						
交通費助成金支出					25,010,823	25,010,823
患者支援費					1,164,625	1,164,625
研究助成金支出		17,760,000				17,760,000
その他助成金支出	500,000	2,240,000	1,350,000	500,000	925,350	5,515,350
自立支援奨学金支出					18,600,000	18,600,000
ひとり親支援費					900,000	900,000
業務委託費	358,449		1,236,236		65,950	1,660,635
謝金等		55,685			94,660	150,345
研修費					5,000	5,000
通信費(電話料金等)	204,897					204,897
通信費(郵便料)	1,562,477				4,680	1,567,157
宅配料	375,710		18,513		1,800	396,023
水道光熱費	173,763					173,763
旅費交通費	828,012	127,410	28,380		118,799	1,102,601
広報費			264,000			264,000
会議費	19,243	16,932			17,114	53,289
事務用消耗品費	1,444,817		27,140		20,395	1,492,352
普及消耗品費	2,953,500					2,953,500
図書・ソフトウェア	74,116					74,116
印刷出版物費	1,069,873		709,051		2,710	1,781,634
賃借料	2,072,616				100,398	2,173,014
諸会費	30,000					30,000
銀行手数料	253,191				660	253,851
集金代行手数料	2,419,708					2,419,708
支払手数料	5,990,301					5,990,301
減価償却費	573,970		353,597			927,567
その他経費計	20,904,643	20,200,027	3,986,917	500,000	47,032,964	92,624,551
事業費合計	29,557,899	22,401,032	7,653,887	4,035,195	54,660,837	118,308,850

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は181,732,719円ですが、そのうち30,340,000円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は151,392,719円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
Forchildren基金	1,000,000		900,000	100,000	ひとり親世帯支援
株式会社リコー		300,000	300,000	0	ニット帽・マスク
東京都助成金入金「クラウドファンディング資金調達支援		500,000	500,000	0	クラウドファンディング手数料の一部補填
パルシステム共済生活協同組合連合会 ささえあい基金		960,000	720,000	240,000	奨学金
公益財団法人正力厚生会が患者団体助成事業		271,738	271,738	0	奨学生交流会への助成
デンソーグループはあとふる基金		165,000	165,000	0	ニット帽
GRNひとり親世帯支援制度		30,000,000		30,000,000	ひとり親支援事業(特定資産)
合計	1,000,000	32,196,738	2,856,738	30,340,000	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	1,455,408	1,030,272		2,485,680	△ 1,209,259	1,276,421
無形固定資産						
ソフトウェア	3,797,440			3,797,440	△ 2,386,738	1,410,702
投資その他の資産						
敷金	187,077			187,077	-	187,077
合計	5,439,925	1,030,272	0	6,470,197	△ 3,595,997	2,874,200

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
受取寄附金—一般寄付	159,430,599	1,070,000	
活動計算書計	159,430,599	1,070,000	0
(貸借対照表)			
立替金	290,644		130,065
貸借対照表計	290,644	0	130,065

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、人件費については従事割合、地代家賃・水道光熱費については使用割合に基づき按分しています。

財産目録
令和4年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	4,464	
金券	10,043	
普通預金 みずほ銀行	22,291,562	
普通預金 三菱UFJ銀行	20,388,796	
普通預金 ゆうちょ銀行	6,103,341	
未収金		
コンビニ収納代金未収	21,000	
クレジット代金未収	2,022,040	
前払費用	6,422	
立替金	290,644	
仮払金	1,600	
特定資産		
自立支援基金	101,193,411	
ひとり親支援基金	30,000,000	
流動資産合計		182,333,323
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
ノートパソコン 1台	1	
電話機	59,965	
ミュージックビデオ	27,500	
インタビュー動画	206,250	
インタビュー動画	102,090	
インタビュー動画	582,294	
京都ウォーキング動画	298,321	
有形固定資産計	1,276,421	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア		
会員管理システム	597,618	
WEBサイト制作費	673,750	
Amazonpay構築	139,334	
無形固定資産計	1,410,702	
(3)投資その他の資産		
敷金	187,077	
投資その他の資産計	187,077	
固定資産合計		2,874,200
資産合計		185,207,523
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払費用		
職員人件費 12月分	1,565,237	
社会保険料11月分	358,309	
スタッフ業務委託費	1,441,258	
患児支援費12月分	55,000	
顧問料 12月分	55,000	
流動負債合計		3,474,804
負債合計		3,474,804
正味財産		181,732,719

2022年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○ 理事 ・監事	マツイヒデフミ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		松井 秀文		
2	○ 理事 ・監事	ウエダシゲル	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		上田 茂		
3	○ 理事 ・監事	カワニシユミコ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		川西 由美子		
4	○ 理事 ・監事	ササキイクオ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		佐々木 郁夫		
5	○ 理事 ・監事	レイクセイコ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		レイク聖衣子		
6	○ 理事 ・監事	ナカヤマコウジ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中山 晃司		
7	○ 理事 ・監事	オノマサト	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小野 正人		
8	○ 理事 ・監事	イソナカジュン	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		磯中 淳		
9	○ 理事 ・監事	マノナオミ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		眞野奈緒美		
10	○ 理事 ・監事	マナベミカ	2022年 8月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		真鍋 美薫		
11	理事 ○ 監事	イトウヒトシ	2022年 1月 1日 ～ 2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		伊藤 齊		

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

	氏名	
1	松井 秀文	
2	上田 茂	
3	川西 由美子	
4	佐々木 郁夫	
5	レイク聖衣子	
6	中山 晃司	
7	小野 正人	
8	磯中 淳	
9	眞野奈緒美	
10	真鍋 美薫	
11	伊藤 齊	